

エ リ ア イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

◆「武蔵×武蔵 吉川英治と木村毅 二人の剣豪」

- ▶ 10月10日(土)～11月1日(日)
- ▶ 10:00～18:00(入館は17:30まで)
- ▶ 休館日/毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)
- ▶ 料金/金/一般300円、高大200円、小中150円、65歳以上(要証明書提示)・未就学児(保護者同伴) 無料

【くらやアートホール】

津山市沼77-7 旬葉匠くらや2階 TEL 0868-22-3181

◆シュガークラフト作品展

- ▶ 10月23日(金)～10月25日(日)
- ▶ 10:00～17:00(25日は16:00まで)
- ▶ 料金/無料

◆粘土クラフト Mitsue 教室

- ▶ 「創作人形作品展」
- ▶ 11月1日(日)～3日(火・祝)
- ▶ 10:00～18:00(3日は17:00まで)
- ▶ 料金/無料

◆「男はつらいよ」津山ロケ20周年記念写真展

- ▶ 11月13日(金)～15日(日)
- ▶ 料金/無料

◆能面と油彩画二人展

- ▶ 11月27日(金)～11月30日(月) 9:30～17:00
- ▶ 料金/無料

◆奇跡の4オクターブ「本岩孝之コンサート」

- ▶ 12月10日(木) 13:30～
- ▶ 料金/一般2,500円、学生1,000円 ※当日500円増

◆オカリナ&マリンパデュオ コンサート

- ▶ 12月20日(日) 14:00～16:00
- ▶ 料金/前売2,500円(当日3,000円)

【棟方志功・柳井道弘記念館 (M&Y 記念館)】

津山市東一宮13-8 TEL 0868-27-3239

◆「クルマと過ごす日々」

—元マツダデザイナー・中島美樹夫が描くクルマの絵画展—

- ▶ 第1期:「家族の思い出」～10月4日(日)
- ▶ 第2期:「少年の夢」10月10日(土)～11月15日(日)
- ▶ 第3期:「デザイナーの記憶」11月21日(土)～12月27日(日)
- ▶ 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- ▶ 休館日/水・木曜日
- ▶ 料金/大人500円、大学・専門学生300円、高校生以下無料
- ▶ ※中島美樹夫さんによるギャラリートーク
- ▶ 12月5日(土) ※予定

※上記催し物には、変更がある場合があります。催し物についてのお問い合わせは、直接問い合わせ先へご確認ください。

すたっ〜ふ!! <KURCKO>

このコーナーは、公演の舞台裏であった珍騒動・裏話を、スタッフが感じたままに書き上げています。50周年記念の今回は、現役職員による覆面座談会にて懐かしのエピソードをお届けします。

◆結婚式場(平成9年8月19日まで使用)◆

- 開館当時から併設されており、ピーク時には年間150組の挙式・披露宴をし、一日に4組こなしたこともあった。
- 中には国際結婚式披露宴もあって、披露宴中に流した国歌を巡って、もめたこともあった。

◆レストラン城の営業(～平成18年6月30日)◆

- ここのメニューのひとつに「トリュービン」(グラタン風焼きカレー)というメニューがあり、これが人気だった。これを目当てに足繁く通っていた人がいたとか。
- 中華そばの大ファンもいて、来るたびに2杯平らげていく人もいた。
- 2Fに在ったレストランへは、ホールの中と外と両方から入れたこともあって、プロの有料コンサートの時、外からレストランに入り、何食わぬ顔でコンサートに紛れ込む不届き者がいた。

◆すばらしき大物◆

- 大物演歌歌手の故、H・Iさん。大風邪をひいて、ヒーヒー苦しんでいた。「玉子酒を注文してくれ」と頼まれた。ステージでは、音源を流して、口パク。その時の音源があまりにも若い時のものだったので、ギョーテン。
- 超大物演歌歌手の故、H・Mさん。良質の魚の干物を持参して、七輪を所望。電気コンロしかなくて、結局断念された。東京まではタクシーで帰ったとき。
- 空き時間に吉井川にハエ釣りに行った無類の釣り好き大物女性歌手故、M・Aさん。女性にしては珍しい。
- これまた人気歌手のM・Sさんは、津山名産の作州鎌が欲しいと言い出した。ご自慢の白いBMで出かけた。
- 昔は公演後に打ち上げ交流会を開くのが常。その後、JR津山駅まで見送るのが定番だった。役者さんたちもフレンドリーで、参加した市民の皆さんもとても満足。
- 1年の間に何度も来てくれる役者さんも多くて、津山に行きつけの喫茶店や飲み屋さんを作った人もいた。女優のH・Sさん、俳優のK・Kさんなど。市民と気さくに交流してくれた。
- コンサートの途中、舞台から客席に落ちてしまった演奏家のT・Tさん。そのまま何もなかったかのように演奏を続けたが、実は骨折していたそう。
- ワガママな芸能人もいたものだ。季節外れのくだものを所望。銘柄も指定され、津山じゅうを探すが、手に入らず、ふてくせられた。
- ワガママな芸能人もいたものだ。「津山で一番おいしいそばを持って来い！」慌てて調達するが、お気に召してくれたかどうか…。
- 現役大臣の講演会(報告会)もあり、舞台袖には、強面のSPがズラリ。異様な雰囲気でも縮み上がった。

■ 表紙写真: 津山文化センター正面斗拱部分

平成27年10月1日発行